

「令和5年度 石巻市管理職対象学校防災研修会」で講師を担いました（2023/6/2）

主催：石巻市教育委員会
テーマ：学校防災、学校管理職、洪水災害、研修
場所：石巻市桃生公民館

6月2日、石巻市桃生公民館会議室において、「令和5年度石巻市管理職対象学校防災研修会」が開催されました。この研修会には、石巻市内の学校園の管理職（校長・園長、もしくは教頭）全53名が受講者となりました。研修Ⅱ「避難のタイミングとその判断材料（洪水編）」の講師を、防災教育実践学分野の佐藤 健教授、桜井愛子クロスアポイントメント教授らが担当しました。なお、この研修内容は、災害科学国際研究所プロジェクト連携研究センター「防災教育協働センター」の以下の共同研究者の協働により企画・開発されたものです。

佐藤 健（防災教育実践学分野・教授）
桜井愛子（防災教育実践学分野・教授／クロスアポイントメント）
北浦早苗
村山良之（宮城教育大学防災教育研修機構・協力研究員）
熊谷 誠（山形大学地域教育文化学部・講師）
小田隆史（東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻・准教授）
橋本雅和（関西大学環境都市工学部都市システム工学科・准教授）

本研修会は、以下の条件設定と達成目標を掲げ、講義と演習の構成により実施されました。

【条件設定】

洪水想定時の学校管理下において、石巻市立大谷地小学校から沢田老人憩いの家への立ち退き避難の際の「避難スイッチ」について考える。

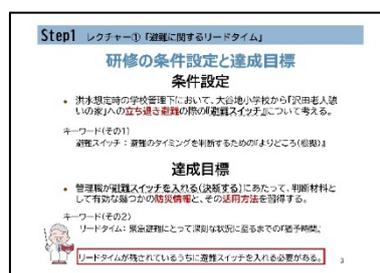
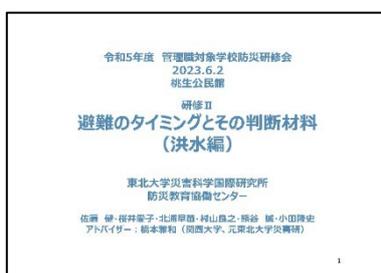
【達成目標】

管理職が避難スイッチを入れる（決断する）にあたって、判断材料として有効な幾つかの防災情報と、その活用方法を習得する。

研修会の最後には、石巻市学校防災推進会議ワーキンググループ1「防災研修」リーダーの阿部勇志校長（石巻市立渡波中学校）により、管理職対象の学校防災研修会の意義を含む研修会全体の振り返りが行われました。



研修（講義・演習）の様子



講義スライドの抜粋

文責：佐藤 健・桜井愛子（防災教育実践学分野）